

# 『ジオグラフィカを山で使ってみよう』

ジオグラフィカ開発者：松本圭司

## ■ジオグラフィカのインストール（無料）

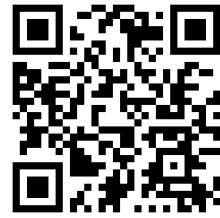
右のQRコードをスマホで読み取る

iPhone→iOS11以降なら標準のカメラアプリで読み取れます。

Android→QRコード読み取りアプリを使ってください。


または、

AppStore アプリか GooglePlay アプリで『ジオグラフィカ』を検索



## ■ジオグラフィカで出来る代表的なこと

1. 画面に表示した地図を自動で保存します→圏外でも機内モードでも地図を見られます
2. 地球上どこでも現在地を表示できます→山奥でも太平洋の真ん中でも大丈夫！
3. 歩いた軌跡を記録できます→GPS ログ、トラックログ
4. 地点を登録して、そこを目指したりできます→マーカーのロックオンなど

操作に困ったら  画面左上のメニューボタンを長押ししてください。状況に応じたメニューが表示されます。使い方は[メニュー]→[ヘルプ]で見ることができます。

## ■登山前の準備 その1 地図をキャッシュする

歩く予定の道沿いを中心に地図を見れば自動で保存されます。保存した地図は圏外でも機内モードで見られます。地図を見て保存することを『キャッシュする』と言います。



### ■手順

1. 画面上部の座標部分を左にスライドすると検索画面になります。
2. 山名や地名を入力して検索。結果をタップすると、その地点に飛べます。出てこない場合は近くの地名などを入れて検索してみてください。
3. 目的の場所が表示されたら、予定コースにそって地図を確認してください。画面に表示した地図は自動で保存(表示キャッシュ)されます。

### ■キャッシュの注意点

地図を拡大したり縮小したりして**詳細地図**と**広域地図**を表示してください。広域だけ見て詳細を見ていない場合、圏外で詳細な地形図を見られません。詳細だけ見て広域を見ていないと、広い範囲を見ようとした時に地図が表示されません。詳細と広域の両方を見ておいてください。実際にオフラインでも使えるかどうかは、機内モードにすれば確認できます。

## ■今日のスライド




右のQRコードを開くとスマホやパソコンで見られます。



## ■登山前の準備 その2 マーカーを登録する

登山口、分岐、山頂、山小屋、駅、バス亭などにマーカーを登録すると便利に使えます。


### マーカーを登録する手順

1. 地図画面のセンターマーク  を目的の地点に合わせる。
2. 右に並んでいるボタンの下から3番目、マーカー追加ボタン  を押す。
3. 『マーカー追加画面』で名前を入力する。
4. 『アイコン』をタップし、自分の好みで変更する。
5.  ボタンを押すと保存されます。

登録したマーカーは[メニュー]-[ファイル]-[マーカー]に保存されます。マーカーを登録すれば簡易ナビゲーション機能（マーカーのロックオン）を使えます。

## ■山での基本的な使い方

### ・ 現在地を表示する

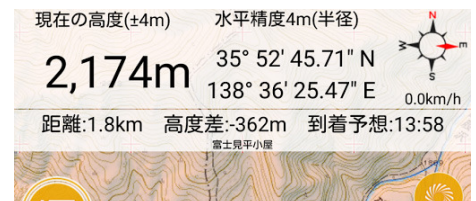
 このボタンを押すと現在地が表示されます。このボタンが緑色だと、現在地が画面の中央に固定されます。通常はもう一度押して黄色にして使ってください。




### ・ マーカーまでの距離や高度差を知る

地図上に配置したマーカーをタップ（押す）するとマーカーまでの距離や高度差が表示されます。

### ・ マーカーをロックオン/ロック解除する

地図上に配置したマーカーを長押しするとメニューが表示されます。メニューから『ロックオン』を選ぶと、現在地とマーカーが直線で結ばれ、画面の上の方に距離や高度差などが表示されます。再度長押しして『ロック解除』を選ぶと線や表示が消えます。



- ・  トラック開始ボタンを押すと軌跡を記録できます。記録中はこのボタンが緑色  になります。再度押すと現在までの歩行距離などが表示されます。その画面の左下にある停止ボタン  を押すと記録が停止されます。

## ■詳細な説明書

更に詳しい使い方は右のQRコードを読み取るか、下記アドレスから。

<http://qq3q.biz/NNuJ>



## ■ジオグラフィカ、スマホ GPS の注意点

- ・ スマホの電池切れに注意してください。出来るだけ機内モードで使用し、モバイルバッテリーを持ってください。ケーブル忘れ、ケーブルの断線、充電忘れに注意。
- ・ GPS を使っていても紙の地図とコンパスは携帯してください。GPS を正しく使うには読図の知識も必要です。地図を読めるようにしておきましょう。
- ・ 安全な場所で立ち止まって使ってください。歩きながらの使用は危険です。
- ・ 谷や沢、ビル街ではGPSの測位精度が下がります。GPSを過信せず状況判断してください。